



HOKKAIDO UNIVERSITY

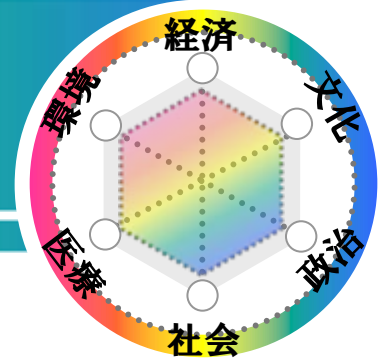
Title	北海道レインボープロジェクト
Author(s)	チーム☆チョッキ☆
Description	経済学部高井ゼミ
Relation	学生提言『グリーン・ニューディール』第6回ディベート大会及び最終発表。平成21年10月24日，11月2日。札幌市
Issue Date	2009-10-24
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/39971
Type	lecture
File Information	teamChokki.pdf



北海道レインボープロジェクト

☆チョツツキ☆

謝辞



北海道庁

国土交通省

航空局総務課課長 鬼木秀雄氏

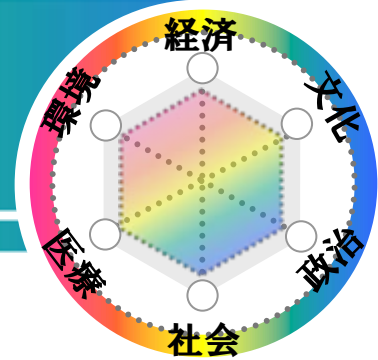
衆議院法制局

厚生労働委員会担当 岡本修氏

弁護士 田中徳夫氏

札幌美容形成外科 本間賢一院長

謝辞



北海道大学文学部 瀬名波 栄潤氏

北海道大学経済学部 高井 哲彦氏

インタビューさせていただいた

オナベバーの皆様計4名

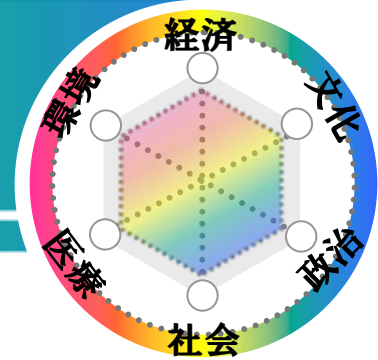
街頭アンケートにご協力いただいた

札幌市、東京都民の皆様計200名

他23名

★takait★ の皆様

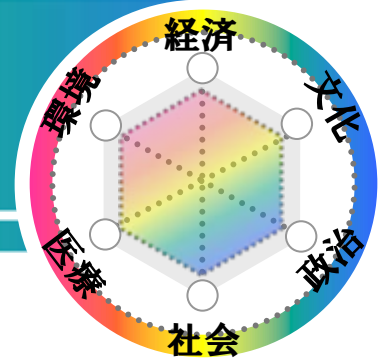
発表アウトライン



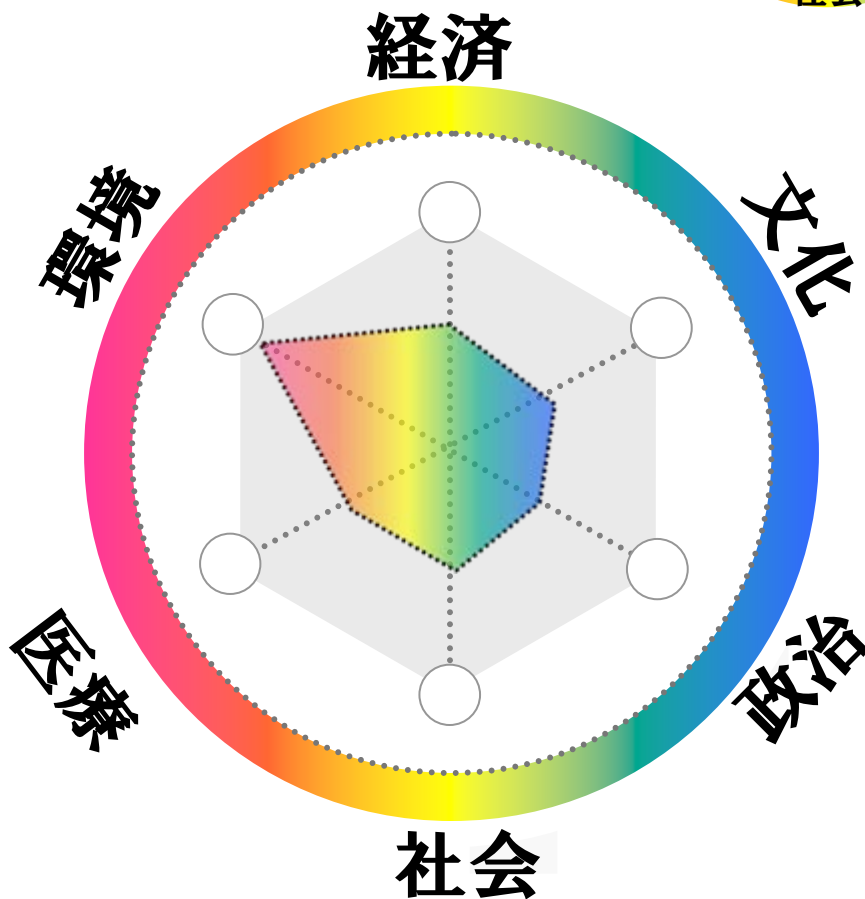
1. 現状分析と生き生きの定義
2. 政策案
3. 期待される効果
4. まとめ



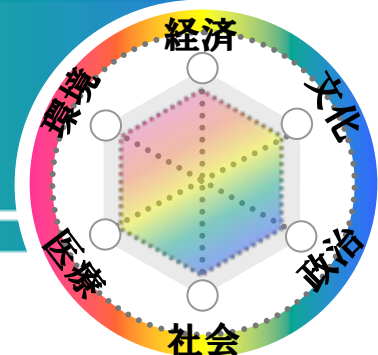
北海道は？



- ・ 私たちが考える現状分析
- ・ バランスが悪い。。。



生き生きとは？



・ 経済発展だけが幸せ？

★GDPランキング 世界第 **2** 位

(出典：世界銀行)

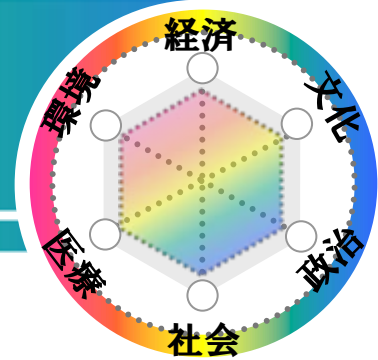
★人生の満足度国別ランキング 30カ国中 **25** 位

(出典：World Values Survey)



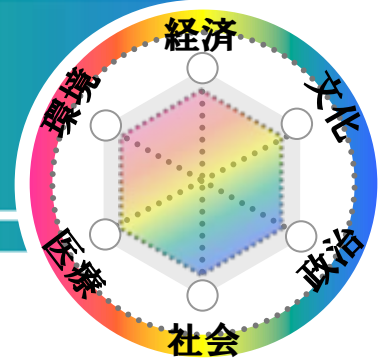
幸せって何？

バランスの良い社会＝生き生き (^o^)



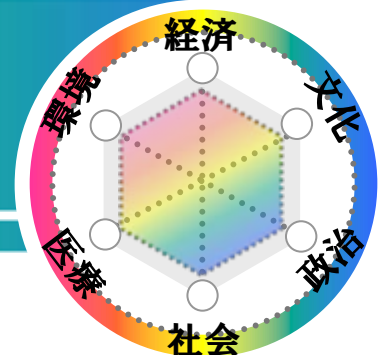
北海道レインボー特区プロジェクト

セクシャルマイノリティとは



- ・ 典型的な「男性」「女性」とは異なるセクシャリティを持つ者。ゲイ・レズビアン・トランスセクシャル・バイセクシャル。（講義資料「ジェンダーを考える」）
- ・ どの文化圏、どの年齢層でも人口の **4～8%**
 - ★日本では **274万人**と推定
(出典：日経ビジネス 2007年4月16日号)
- ・ 差別
 - ★認められない結婚
 - ★職業の不自由

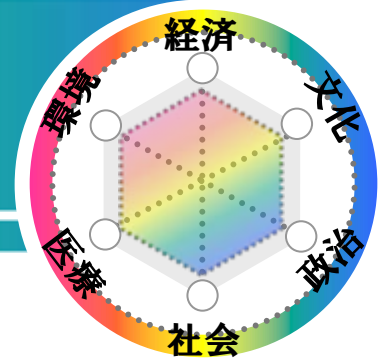
Come on!!!レインボー政策★



政策案

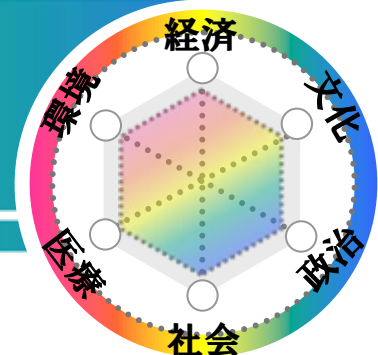
北海道を以下のような特区にする。

1. 戸籍上の性別変更の条件を緩和する
2. 同性結婚を認める
3. 北海道を性転換手術の世界的拠点にする



政策

1. 性別を変えられる★

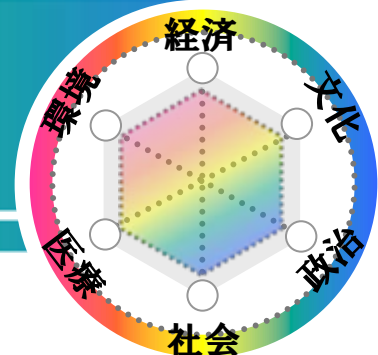


条件

- ・ 北海道に住民票を持つ人
- ・ ホルモン注射を5年間継続して投与している人

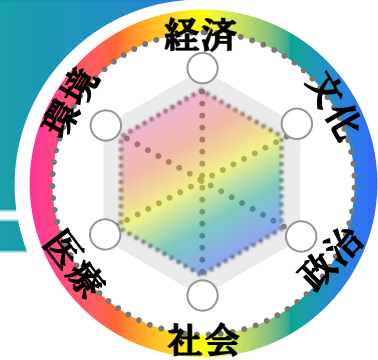


2. 同性結婚を認める★



多様な性の受け入れ

3. 性転換手術の国際拠点★



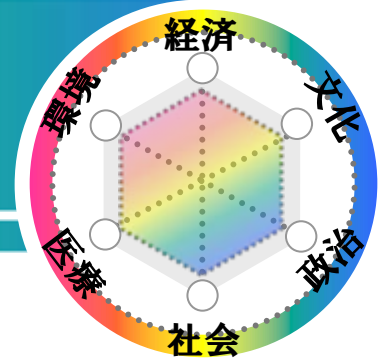
北海道内の大学病院で手術を可能に♪

★安心の医療技術

★安心のアフターケア

⇒医療集積によるイノベーション



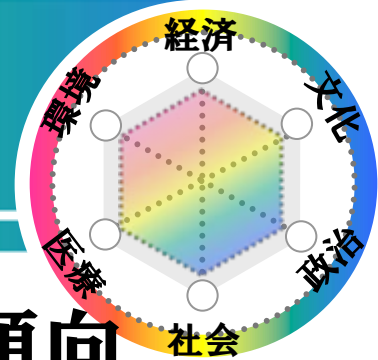


何で北海道なの？

- ①意識的要因
- ②セクシャルマイノリティ団体の活発な活動
- ③医療実績

⇒実証してみよう★

何で北海道なの？①意識的要因



- ・ 歴史が浅い→多様性を受け入れる傾向

- ★アイヌ民族
 - ★同和差別がない

- ★新参者に寛容

- ★新しいものの好き→企業のサンプル調査

- ・ ジェンダー意識の高さと高まり

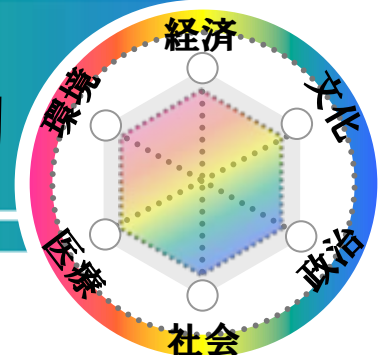
- ★離婚率：全国第 **3** 位（全夫婦の **0.2** %）

（出典：厚生労働省「人口動態統計」）

- ★北海道内のジェンダー講演参加者数 **5** 年で**50**%UP

（出典：札幌市男女共同参画センター HP）

なんで北海道なの？②活発な活動



- ・ 札幌にセクシャルマイノリティの最大拠点

★札幌ミーティング

★レインボーマーチ

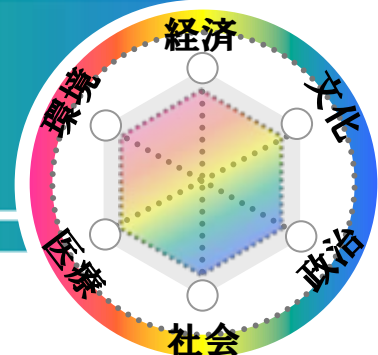


(出典：第12回レインボーマーチ札幌)

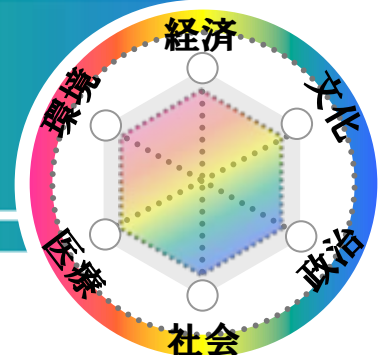
<http://www.rainbowmarch.org/index.html>



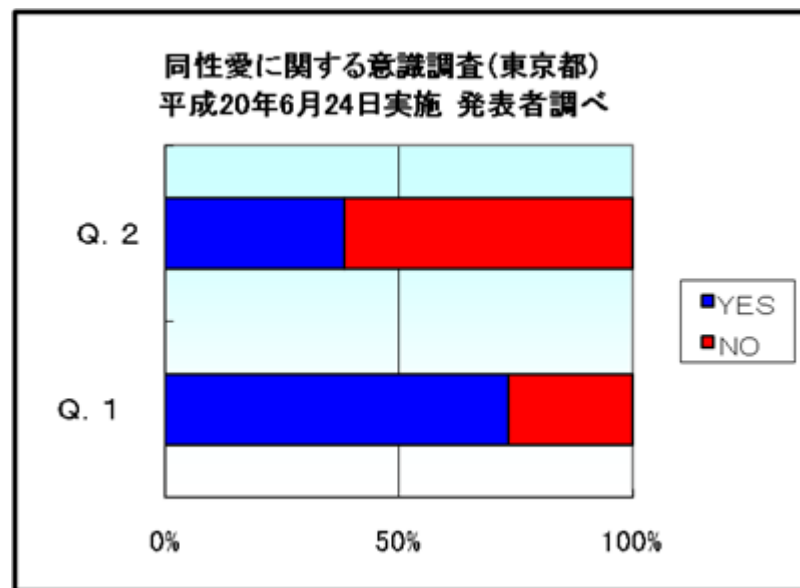
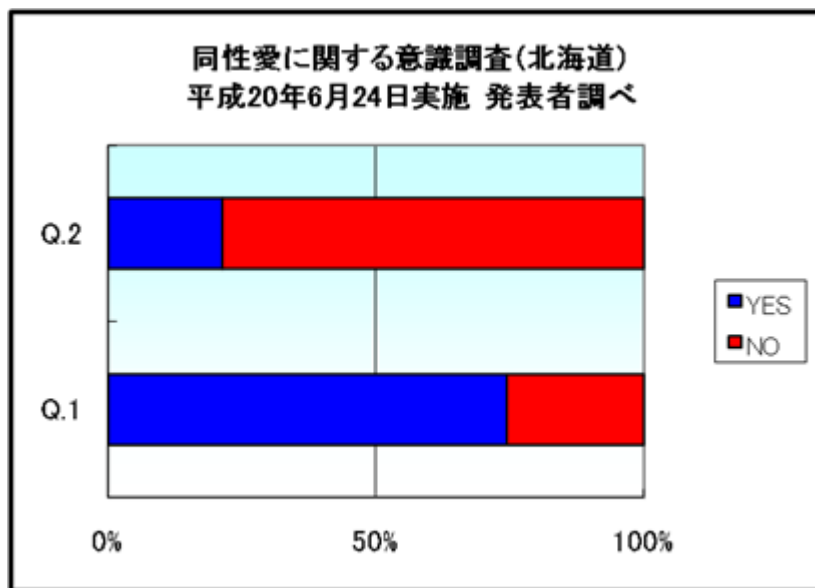
何で北海道なの？③医療実績



なんで北海道なの？④実証

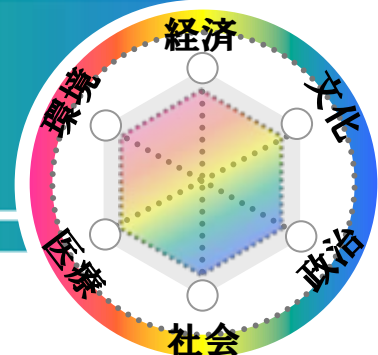


実際に調査してきました！！！！



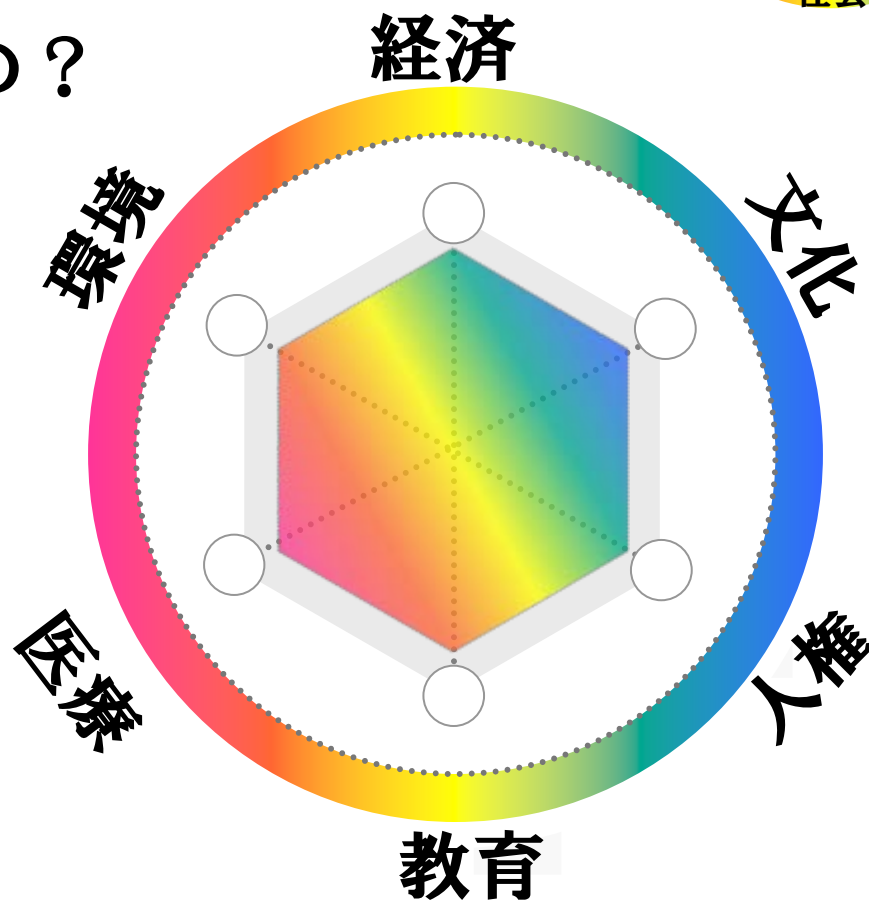
- Q.1 同性愛者同士の結婚に賛成か？
- Q.2 同性愛者が自分の街に集合したら不愉快か？
- 注：同性愛に関するデータが少ないため、発表者は街頭で各100名にアンケートを行った。

でも・・・

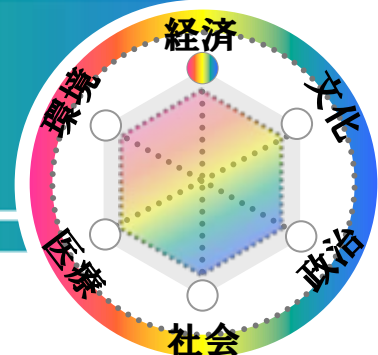


・ 私たちに効果があるの？

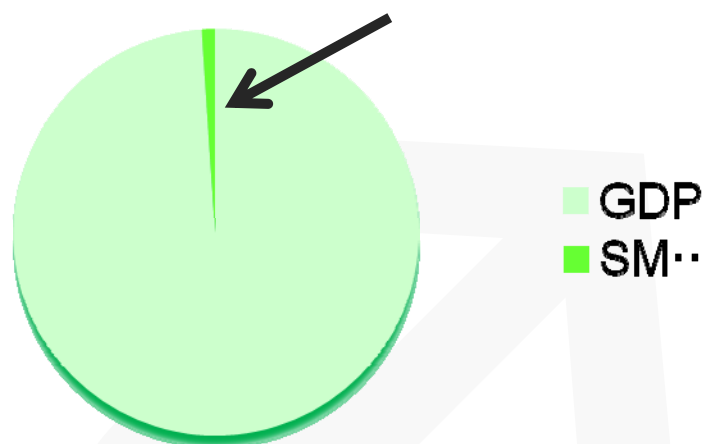
YES!!!



経済効果（消費市場）①



・ SMの消費の国内市場 = 約 6 兆 6000 億円！



GDPの **1** % !

= 国内酒消費市場

(出典：日経ビジネス 2007年4月16日号)

⇒消費の拡大

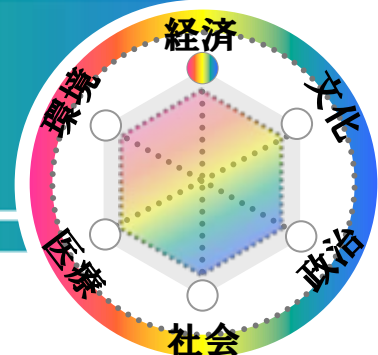
★企業の注目

★市場の開拓(ブライダル・旅行・下着)

★イベント・パレードによる効果 (海外では数百万ドルの利益)

注：SM=セクシャルマイノリティ

経済効果（生産）②



・ 企業からの注目！！！！

★トヨタレクサス

★ウィルコム

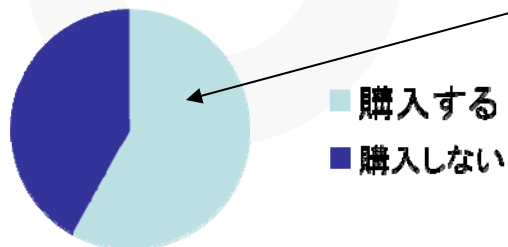
★JAL

★スバル

⇒セクシャルマイノリティ向け雑誌への広告効果

同性愛者の58% 「同性愛向けマーケティング企業から
商品購入する」

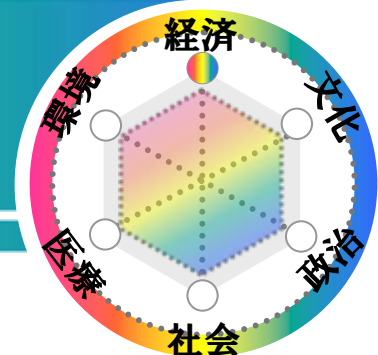
同性愛者向けのマーケティングに取り組
んでいる企業から商品を購入する



58%

(出典：日経ビジネス2007年4月16日号)

経済効果（人口）③



・ 養子縁組による人口流入

セクシャルマイノリティ

北海道に来るSM = **1 3 7** 万人を予測

単純計算で **6 0** 万組のカップル

そのうちの半数が子供を望む

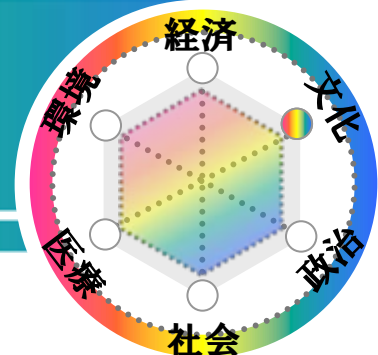
セクシャルマイノリティ

★今いる養護施設に通う児童 3 万人が、SM夫婦の
元に送られる = **1 0** 組に 1 人

→ 社会の担い手の増加

参考URL : 『厚生労働省HP』<http://www.mhlw.go.jp/>

文化への効果



- ・ レインボー♥ストリートの形成
Ex: CASTRO STREET IN USA
- ・ クリエイティブな職業に就く人にSMが多い
- ・ SMの人たちの学位取得率が **25%** 上



⇒新たなファッション・インテリ文化の形成

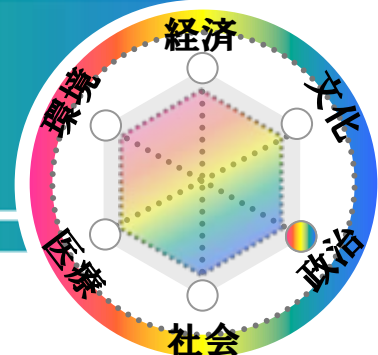
参考文献：入江敦彦『ゲイ・マネーが英国経済を支える!?』洋泉社、2005年。

堀江瑠璃子『世界のスターデザイナー』未来社、2005年。

『カストロストリート』<http://www.geocities.com/reportsf/castro.htm>

注：SM＝セクシャルマイノリティ

政治への効果



- ・ セクシャルマイノリティの人権への効果

- ★精神的苦痛の解放

- ★職業の自由

- ・ 他のマイノリティ人口への人権効果

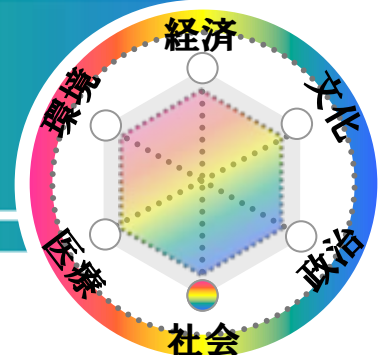
- ★同じ苦しみを持つ人間としての理解

- ★社会への積極的働きかけ

cf: アイヌ民族・障害者・外国人・高齢者

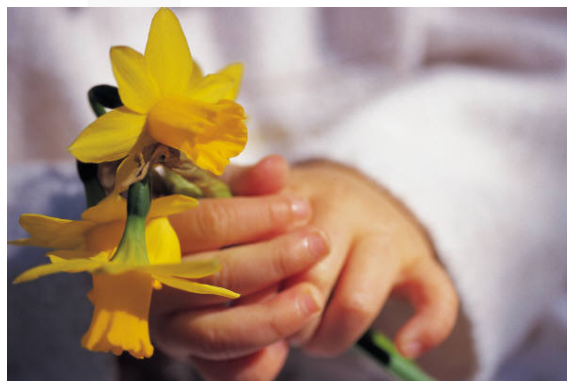


社会への効果



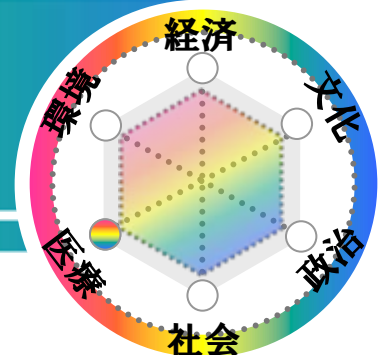
- ・ ジェンダー教育の取り入れ
 - ★性別の在り方に対する認識の理解
 - ★多様な家族形態に対する理解

⇒進む意識改革



♀ — ♂
? ♀ ♂ ♀ ♂ ♀ ♂ ?

医療への効果



研究拠点センター確立

事例 :  北海道公立大学法人
札幌医科大学
Sapporo Medical University

泌尿器科・形成外科・産婦人科・精神科



優秀な医療関係者の流入



性転換手術の発展⇒医療技術の発展



患者集団の診療用病院の拡大と長期医療の革新

泌尿器科の発展＝透析診療

産婦人科の発展＝不妊治療

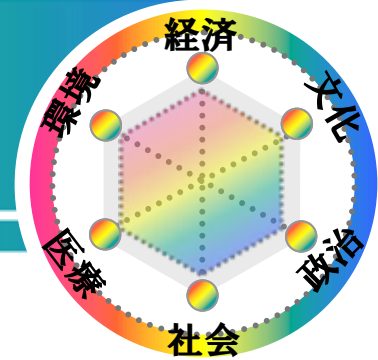
形成外科の発展＝火傷診療・アンチエイジング

メンタルクリニック＝自殺者の減少

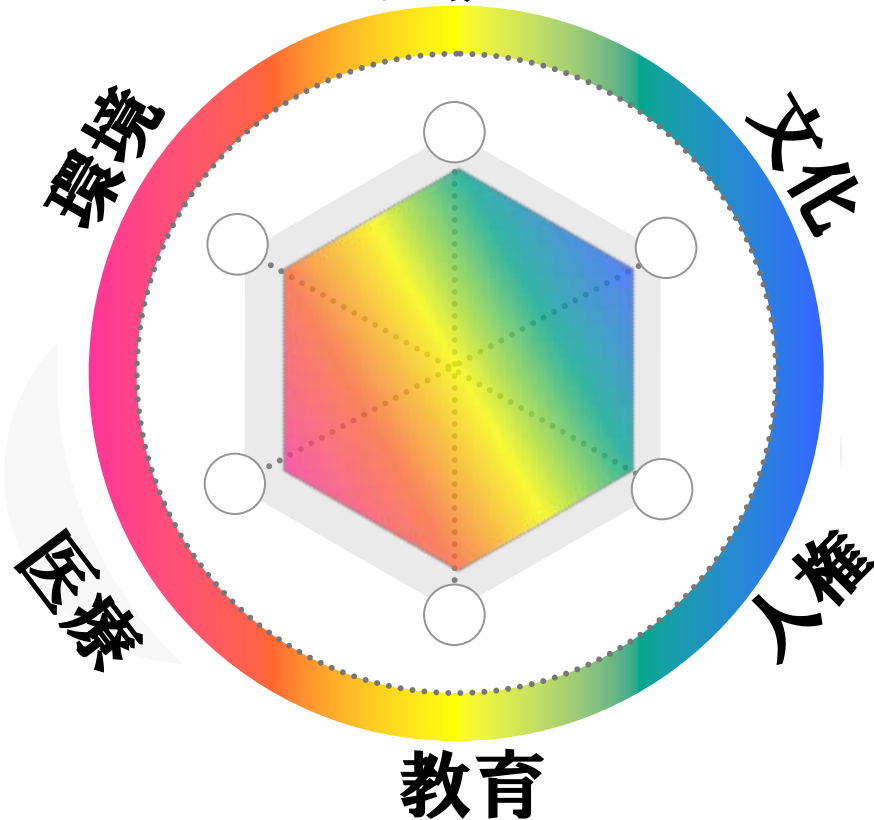


医療革命

まとめ

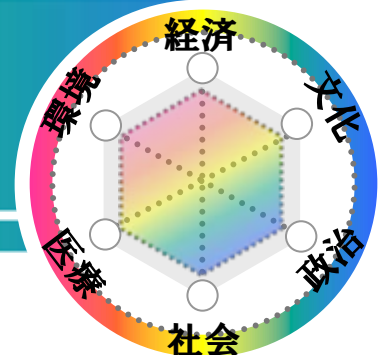


★性的弱者の精神的・身体的・社会的救出 経済



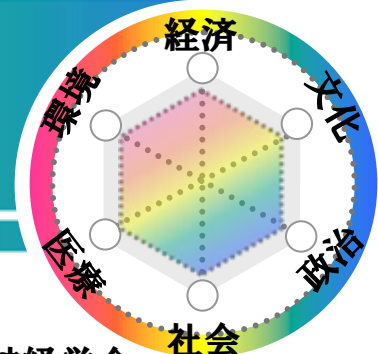
全ての人間を
生き生きとさせる
ことのできる
政策である！

参考文献



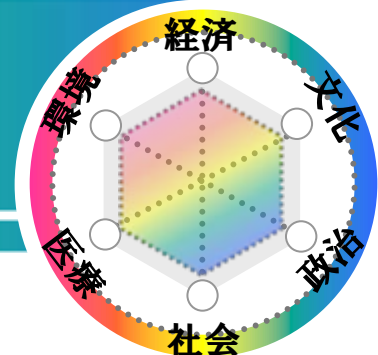
- ・ 朝日新聞文化財団『有力企業の社会貢献度2002』、PHP研究所、2002。
- ・ 二宮厚美『ジェンダー平等の経済学』新日本出版社、2006。
- ・ 久場嬉子『経済学とジェンダー』明石書店、2002。
- ・ 竹中恵美子『労働とジェンダー』明石書店、2002。
- ・ J・ストルテンバーグ『男であることを拒否する』勁草書房、2002。
- ・ 『男女共同参画社会データ集 2004年版』生活情報センター、2004。
- ・ 姫岡とし子『ジェンダー化する社会』岩波書店、2004。
- ・ 富士谷あつ子編著『男女共同参画の実践』明石書店、2007。
- ・ 江原由美子編著『ジェンダーの社会学』新曜社、1989。
- ・ 富岡恵美子編著『日本の女性と人権』明石書店、1995。
- ・ 虎井まさ衛編著『語り継ぐトランスジェンダー史』十月舎、2003。
- ・ ジョージ・チョーンシー『同姓婚－ゲイの権利をめぐるアメリカ現代史』明石書店、2006。
- ・ 浅倉むつ子編著『比較判例ジェンダー法』不磨書房、2007。
- ・ 『数字でみる日本の100年』矢野恒太記念会、2006。
- ・ 国連開発計画『グローバル化と人間開発』国際協力出版会、1999。
- ・ 『ジェンダーがわかる。』朝日新聞社、2004。
- ・ 藤竹暁『発想鉱脈 データ年表』ダイヤモンド社、1987。
- ・ 北海道企画振興部『平成16年版 北海道経済白書』北海道、2007。
- ・ 北海道計画局統計課『月刊 北海道統計 No.726』北海道、2008。
- ・ 北海道経済部総務課『北海道活性化戦略ビジョン』北海道、2007。
- ・ 北海道広報広聴課『数字やグラフで見る北海道のあらまし』北海道、2005。
- ・ 北海道総合企画部統計課『統計でみる北海道のすがた』北海道、2002。

参考文献



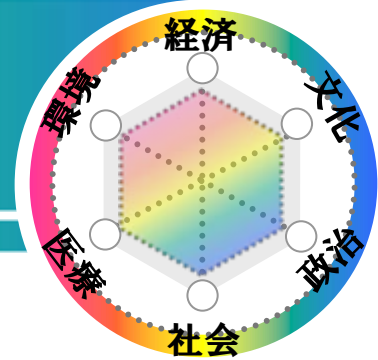
- ・『日経ビジネス』日経BP社、2008年4月16日号。
- ・『日経ビジネス』日経BP社、2008年2月26日号。
- ・性同一性障害に関する委員会『性同一性障害に関する診断と治療のガイドライン』日本精神神経学会。
- ・入江敦彦「ゲイ・マネーが英国経済を支える！？」洋泉社、2005年。
- ・堀江瑠璃子「世界のスターデザイナー43」未来社、2005年。
- Francisco Giraldo, M.D., Ph.D., Isabel Esteva, M.D., Ph.D., Trinidad Bergero, M.D.,
Corona Glans Clitoroplasty and Urethrophreputial Vestibuloplasty in Male-
to Female Transsexuals: The Vulval Aesthetic Refinement by the Andalusia
Gender Team. Plast. Reconstr. Surg. 114:1543, 2007.
- Fabio Santanelli, M.D., Ph.D., and Nicolo Scuderi, M.D.
Neophalloplasty in Female-to-Male Transsexuals with the Island Tensor
Fasciae Latae Flap. Plant. Reconstr. Surg. 105:1990, 2000.
- Gennaro Selvaggi, M.D., Peter Ceulemans, M.D., Griet De Cuypere, M.D.
Gender Identity Disorder: General Overview and Surgical Treatment for
Vaginoplasty in Male-to-Female Transsexuals. Plant. Reconstr. Surg. 145:1335, 1532.
- Stan Monstrey, M.D., Ph.D., Gennaro Selvaggi, M.D., Peter Ceulemans, M.D.
Chest-Wall Contouring Surgery in Female-to-Male Transsexuals. Plant
Reconstr. Surg. 124:1775, 2001.
- ・『SPARTACUS』BRUNO GMUNDER、1997。

参考URL



- ・ 『カストロストリートHP』<http://www.geocities.com/reportsf/castro.htm>
- ・ 『統計局HP』<http://www.stat.go.jp/>
- ・ 『厚生労働省HP』<http://www.mhlw.go.jp/>
- ・ 『札幌市男女共同参画センターHP』<http://www.danjyo.sl-plaza.jp/>
- ・ 『レインボーマーチHP』<http://www.rainbowmarch.org/>
- ・ 『札幌ミーティングHP』<http://pablo1974.com/hsa/01.html>
- ・ 『札幌医科大学HP』<http://web.sapmed.ac.jp/>
- ・ 『北海道大学HP』<http://www.hokudai.ac.jp/>
- ・ 『岡山大学HP』<http://www.okayama-u.ac.jp/>
- ・ 『北海道HP』www.pref.hokkaido.lg.jp/

Thank you★



ご静聴ありがとうございました。